

乳幼児観察セミナー

—その臨床的応用について—

乳幼児観察はエスター・ビックによって創案され、英国での精神分析の基礎訓練としてだけでなく、こどもやメンタルヘルスに関わる多職種の専門家の参加も多く、盛んに行われています。我が国では、主にタヴィストック・クリニックに留学した臨床家によって、乳幼児観察グループなどによってすでに多くの臨床家にその研修の機会を与えています。乳幼児観察は精神分析の基礎訓練だけでなく、こどもと関わる専門職にとっても大きな貢献と知見を与えます。今年度は、乳幼児観察の臨床的応用として、学校臨床、一般臨床に応用する乳幼児観察について論じるつもりです。乳幼児観察は奥深く、臨床家に多大な貢献を為すことが知られていますが、さらに乳幼児観察の重要性を再確認したいと思います。また、本セミナーは我が国で行われている乳幼児観察に関する研究会の中心となるようなフィールドとなることを目論んでいます。

目 的：本セミナーの前半では、乳幼児観察を英国で経験した講師に乳幼児観察に関する講義を行ってもらい、後半には2年間の乳幼児観察を終了した人から生き生きとした乳幼児観察の体験を語ってもらいます。

参 加 者：乳幼児観察の終了者、乳幼児観察に関心を持つ人であれば、職種は問いません。

日 時：①2021年9月26日（日）13時～17時

②2022年3月20日（日）13時～17時

場 所：小寺財団セミナールームおよび小会議室

Zoomによるオンライン参加

司 会：①鈴木龍（鈴木龍クリニック）

②脇谷順子（杏林大学保健学部/認定NPO法人子どもの心理療法支援会）

講 師：①木部則雄（こども・思春期メンタルクリニック/白百合女子大学 発達心理学科）

乳幼児観察から得られた所見と臨床との関連を、『乳幼児観察の基礎』をテキストとして論じます。

②山口義江（日本大学文理学部 心理学科）

乳幼児観察では、非言語的交流の達人である赤ちゃんを導き手として、身体感覚による交流が訓練されます。以前に心理臨床学研究に掲載された論文内容に、その後の自身の臨床経験の知見を加えて、乳幼児観察での経験が、心理療法にどう生かされるかについて考えてみたいと思います。

討 論 者：①脇谷順子

②鈴木龍

定 員：30名

受 講 料：12000円

申込方法：小寺財団事務局まで、Eメール、郵便またはFaxでお申し込みください。

〒160-0004 新宿区四谷3丁目4番 SCビル6階

小寺記念精神分析研究財団事務局

E-mail：kodera.kt@nifty.com

FAX：03-3350-9749

申込期限：2021年9月13日（月）

主催：小寺記念精神分析研究財団

NO. _____

『乳幼児観察セミナー』 参加申込書

本参加申込書は、下記まで E-mail、郵送または FAX にてお送り下さい。
 ※Eメールの場合は、件名を『乳幼児観察セミナー』として、本文に下記必要事項
 をご記入下さい。なるべくメールでお申し込み下さい。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-4SC ビル 6 階
 小寺記念精神分析研究財団事務局

Fax : 03-3350-9749 E-mail : kodera.kt@nifty.com

申込期間 9月13日(月)まで期間厳守 申込 月 日

フリガナ 氏 名			男 ・ 女 (19 年生)
勤 務 先			
所 属		職 種	経 験 年

(どちらかを○で囲んでください) 自宅 ・ 勤務先

連 絡 先	〒	
自 宅	電話	FAX
どちらかに○	会場への出席	オンライン出席
e-mail アドレス		
<p>参加の可否については、受付後順次連絡先住所に申込書に記載の E メールアドレスに連絡いたします。その際振込先もご案内いたします。定員になりしだい締め切ります。 <u>会場での参加、オンラインでの参加のご意向を上記の欄でお選び下さい。</u></p>		
<p>本セミナーをどのようにして知りましたか？該当する箇所に○をお付け下さい。 郵便・ホームページ・メール・知人の紹介・その他 ()</p>		

※記載いただいた個人情報は、セミナーのご連絡及びご案内のみに使用いたします。